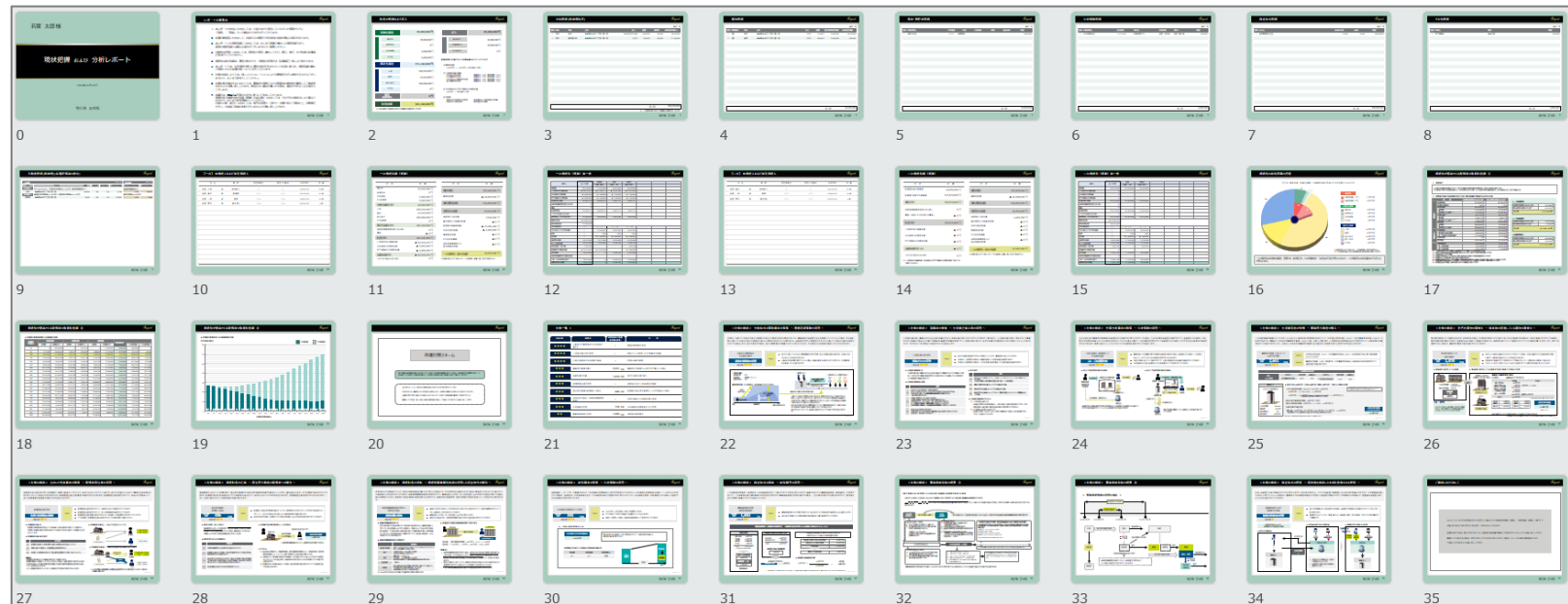


現状把握および分析レポート

操作手順書（詳細編）

現状把握および分析レポート

提案書（分析レポート）完成図



【現状把握および分析レポート】

- お客さまの情報を入力することで、顧客ニーズ分析機能が働き、お客さまの資産内容に合った提案書が作成できます。
- 顧客ニーズ分析機能とは、お客さまの資産内容等を自動で分析し、お客さまが抱えている相続上の問題点と解決策を表示します。
- 手作りでお客さまごとに異なる提案書を作成することは、業務の中で大きな負担の一つとなり、費用対効果が薄れてしまいます。そこで提案書の作成を自動化することで、1～2週間かかる作業を大幅に短縮が可能です。
- 上記のような提案書を簡単に作成できますので、事前相談業務の入口でご利用ください。

顧客情報の用意

初期画面



- 分析レポートを作成してみましょう。

① 【データ入力・検索】をクリックします。

② 顧客情報を新規入力するか【検索】をクリックして、顧客情報を入力シート上に表示させます。

データ入力シート

顧客情報入力シート

顧客ID	顧客名	年齢	性別	婚姻状況	持家	有・無
2024	菅原 太郎	64	男	既婚	有	有
	菅原 春子	63	女	既婚	有	有
	菅原 一郎	34	男	未婚	有	有
	菅原 愛子	4	女	未婚	有	有

項目	金額 (円)
総資産	292 百万円
現金	10 百万円
預貯金	20 百万円
有価証券	100 百万円
自社保険・出資金	100 百万円
個人年金	100 百万円

項目	金額 (円)
総収入 (年間)	20 百万円
給与収入	10 百万円
不動産収入	10 百万円
公的年金	10 百万円
私的年金	10 百万円
その他	10 百万円

- ・ 顧客情報を新規入力する場合は、【顧客情報入力方法】の説明書を参照して入力してください。

顧客データの検索方法

< データ入力シート >

- (1) 【検索】をクリックします。
- (2) 【はい】をクリックします。
- (3) 【顧客名】または【顧客ID】で選択肢を絞り込むことができます。
- (4) 検索リスト上で検索するデータをクリックして選択します。
- (5) 【検索】をクリックします。
- (6) 通常は【検索】をクリックしてください。

※ (6)で【削除】をクリックした場合は、指定した顧客データがDATAファイルから削除されたうえで入力シートに表示されるので、再度【登録】をクリックすることで、DATAファイルに登録することができます。

入力確認・相続税算出設定・顧客ニーズ分析

< データ入力シート >

登録 検索 登録済データ 5 件 システムデータ閲覧 他システムへ接続 印刷 相続の達人XML出力 初期画面 最終更新日 2024/11/20 08:41

新規入力・クリア 定性面チェックレポート強制出力 算出設定・確認 顧客ニーズ分析 遺産分割ツール 株価算定ツール 家系図作成ツール その他情報 配偶者の取得財産計算 データ出力

配偶者の保有財産 30 百万円

入力フォーム

顧客名 若葉 太郎 ④ 会社名 若葉 ⑤ 会社 ⑥ 人名 若葉産業株式会社

顧客ID 2024 形態 所 株価 10,000 円 発行済株式数 10,000 株

担当姓名 DATAファイルに登録(保存)済です

操作・入力方法 簡易モード入力 簡易モード解除

一次：第1表 一次相続税(概算) 二次相続税(概算)

民法上の割合分割 27 百万円 民法上の割合分割 38 百万円

強制入力による分割 - 百万円 強制入力による分割 - 百万円

※1 <算出条件1> 民法上の取得割合で分割した計算結果を示しております。

推定相続人 3人 詳細確認 入力フォーム

続柄	氏名	年齢	同居別居	持家所有・無
被相続人	若葉 太郎	64	-	-
配偶者	若葉 春子	63	同居	有
長男	若葉 一郎	34	別居	無
孫息子	若葉 夏子	4	別居	無

資産・負債状況 入力フォーム

資産	金額	単位	備考
総資産	292	百万円	資産明細
現金		百万円	
預貯金	20	百万円	
有価証券		百万円	生命保険
自社保・出資金	100	百万円	非課税控
個人年金		百万円	利用人数
生命保険	5	百万円	3 人
* その他	5	百万円	不動産
不動産	自動計算	162	簡易入力
総負債	0	百万円	団信
* 負債①		百万円	無
* 負債②		百万円	無
相続時精算課税持ち戻し	0	百万円	
純資産額 ※	346	百万円	

遺産分割一覧表を作成する場合には遺産明細に入力
詳細代金は遺産明細に入力

収入・支出状況 入力フォーム

収入	金額	単位	備考
総収入(年間)	0	百万円	
給与収入		百万円	
* 不動産収入		百万円	
公的年金		百万円	
私的年金		百万円	
* その他		百万円	
総支出(年間)	0	百万円	
生活費		百万円	
借入返済		百万円	
保険料		百万円	
その他		百万円	

株主構成 入力フォーム

株主名	続柄	同族	役職名	年齢	株式数	出資割合	評価額	経営	後継者
若葉 太郎	被相続人	同族	社長	64	10,000	100.0%	100	関与	後継者
若葉 一郎	長男	同族	社員	34	0	0.0%	0	経営外	後継者
その他株主	-	-	-	-	0	0.0%	0	-	-
合計	-	-	-	-	10,000	100.0%	100	-	-

主筆法人宛貸金の有無 無
資産管理会社宛貸金の有無 無

- ③ セルに色がついている箇所がないか確認し、色がついている場合は補記します。(ピンク色と水色以外)
- ④ 【定性面チェック・レポート強制出力】をクリックし、該当する項目をダブルクリックをして「該当」を入力します。
- ⑤ 【算出設定・確認】をクリックし、必要に応じて相続税算出の条件を変更します。(相続割合や相続税控除額などを設定できます)
- ここで設定した内容で相続税が計算されます。※1の第1表ボタンから計算過程を確認できます。
 - 遺産分割ツールの分割案を相続税算出の条件に反映する方法は次ページを参照してください。
- ⑥ 【顧客ニーズ分析】をクリックします。
- 相続や事業承継における問題点や解決方法が一覧で表示されます。

遺産分割ツールの分割案をデータ入力シートへ反映する方法

(2)

(4)

(3)

(5)

- (5) 財産額を反映後【入力フォーム】ボタンから受取金額を編集できます。

家系図作成①

想定ニーズ分析シート

顧客名	若葉 太郎	戻る	配偶者の取得財産計算	前提条件 設定※1	2. 家系図作成※2	分析レポート 作成	DPシステム	印刷	操作方法
店番号・顧客No.	2024	R作成権	おためし取得	レポート速度：高速	データ出力	※1 分析レポートを作成する前に、 ※2 分析レポートに家系図を出力し			
担当署名									

< 顧客ニーズ分析シート > レポート出力件数：14

表示	着眼点	対策	条件 設定	おためし 取得	強制 ★	R 作成	資金	運用 商品	想定ニーズ対策コメント
1 スキーム 確認	自社株式の承継	事業承継税制の活用	*			○			一次相続税は現預金（有価証券、生命保険等を含む）で納付することが可能と思われますが、高額であることから事業承継税制 減できる可能性があります。事業承継税制の活用を検討する場合、一定の要件を満たす必要がありますので、要件等を含めて早期
2 スキーム 確認	自社株式の移転	経営権を維持したまま財産 権のみを移転				○	●		若葉 太郎氏は64歳で100%の株式を保有しています。そろそろ後継者へ株式を移転することを考えているかもしれませんが、オー 式承継を持ち出すことは避けてください。「経営権を握っておきたい」と考えているオーナーであれば、種類株式である無議決権株式が 転させることもできます。
3 スキーム 確認	株価対策	自社株式の移転				○	●		相続税額（一次・二次）が高額で、その原因のひとつに自社株の評価額が100万円となっていることが挙げられます。すでに後 「どのように行うのかを検討しましょう。まずは自社株対策を検討・実施してから後継者への株式移転となります。

家系図自動作成ツール

動画	登録	検索	推定相続人取得	家系図作成	家系図切替	設定	年齢算出基準日設定	クリア	セル右
----	----	----	---------	-------	-------	----	-----------	-----	-----

登録名 **太郎** 未登録 登録済 1

住所 東京都1丁目1番1号

年齢算出基準日 2024/11/21

【本人の父母・兄弟姉妹・甥姪】

	氏名	役職・続柄	年齢	備考
被相続人	F 若葉 太郎	被相続人	64	経営者
配偶者	若葉 春子	配偶者	63	パート
子供 ①	若葉 一郎	長男	34	会社員
F 配偶者1	配偶者1			パート
孫11	若葉 夏子	孫養子	4	法定相続人
孫12	孫12			
孫13	孫13			
孫14				
孫15				
子供 ②	若葉 夏子	孫養子	4	
F 配偶者2				
孫21				
孫22				
孫23				
孫24				
孫25				

	氏名	役職・続柄	年齢	備考
本人の父	F			
本人の母				
兄弟姉妹 ①				
F 配偶者1				
甥・姪11				
甥・姪12				
甥・姪13				
甥・姪14				
甥・姪15				
兄弟姉妹 ②				
F 配偶者2				
甥・姪21				
甥・姪22				
甥・姪23				
甥・姪24				
甥・姪25				

⑪【家系図作成】をクリックします。

⑫【推定相続人取得】をクリックします。

・自動取得できない相続人（続柄）がいる場合は、手動で
氏名などを入力します。

・Fボタンから生年月日を入力できます。

・亡くなっている場合は、氏名欄に『故人』
離婚している場合は、氏名欄に『離婚』と入力します。

・先妻先夫を入力する場合は※1【家系図切替】ボタン
から入力できます。

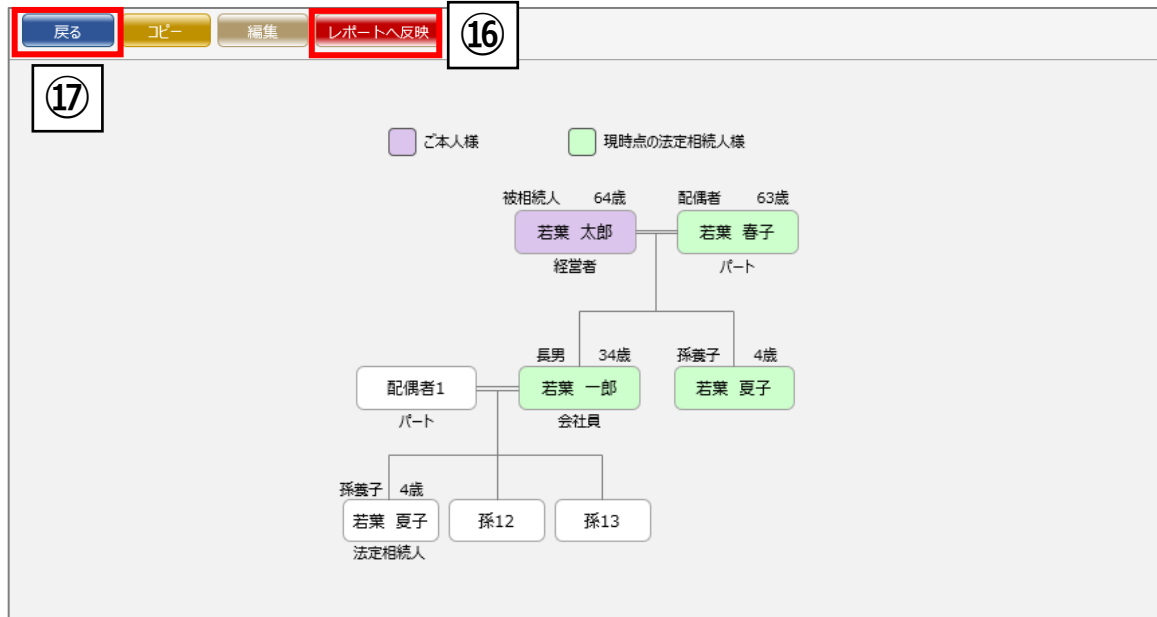
・「本人または配偶者の父母・兄弟姉妹・甥姪」と
「先妻先夫」はどちらか一方のみデータ登録ができます。

⑬ 法定相続人の家族情報を入力します。

⑭【登録】をクリックします。

⑮【家系図作成】をクリックします。

家系図作成②



①⑥ 【レポートへ反映】をクリックします。

- ・各種レポートに作成した家系図が挿入されます。

①⑦ 【戻る】をクリックします。

①⑧ 【家系図自動作成ツール終了】をクリックします。

- ・顧客ニーズ分析シートに戻ります。

※1 出力する氏名の後ろに一括で『様』をつけたい場合

1. 【設定】(※1)をクリックします。
2. 氏名の後ろに挿入する文字の設定欄に『様』を入力し【登録】をクリックします。
3. 設定完了後、家系図を作成します。

また【設定】から家系図の色の変更も行えます。

この設定内容を次回も引き続き使用する場合、

①⑧をクリック後【保存する】をクリックします。

出力設定・現状把握および分析レポート作成

想定ニーズ分析シート

顧客名 店番号・顧客No. 担当者名		若葉 太郎 2024		動画	戻る	配信 ※2	計算	前提条件 設定※1	2. 家系図作成※2	分析レポート 作成	DPシステム	印刷	操作方法
< 顧客ニーズ分析シート >		レポート出力件数: 15		R作成欄 ○ ⇄ ×	お勧め度取得		レポート速度: 高速	データ出力	※1 分析レポート作成前に、前提条件をお客さまに提案する数値に修正してください。修正しない場合は初期値でレポートが作成されます。 ※2 分析レポート出力したい場合は、「家系図作成」をクリックして家系図を先に作成してください。				
【 想定ニーズ一覧 (仮説) 】													
表示	着眼点	対策	条件 設定	お勧め 度	強制 ★	R 作成	資金	運用 商品	想定ニーズ対策コメント				
1 スキーム 確認	自社株式の承継	事業承継税制の活用	★	2	5	○			一次相続税は現預金（有価証券、生命保険等を含む）で納付することが可能と思われますが、高額であることから事業承継税制（納税猶予）を活用することで、一次相続税の納付額を軽減できる可能性があります。事業承継税制の活用を検討する場合、一定の要件を満たす必要がありますので、要件等を含めて早期に準備されることをお勧めいたします。				
2 スキーム 確認	自社株式の移転	経営権を維持したまま財産 権のみを移転		1		○			若葉 太郎氏は64歳で100%の株式を保有しています。そろそろ後継者へ株式を移転することを考えているかもしれませんが、オーナーは主宰法人に格別の思い入れがありますので、唐突に株式承継を持ち出すことは避けてください。「経営権を握っておきたい」と考えているオーナーであれば、種類株式である無議決権株式を活用することで、経営権を確保したまま、後継者へ株式を移転させることもできます。				
3 スキーム 確認	株価対策	自社株式の移転		1	3	○	●	●	相続税額（一次・二次）が高額で、その原因のひとつに自社株の評価額が100百万円となっていることが挙げられます。すでに後継者が決まっていることから、後継者への株式移転を「いつ・どのようにして」行うのかを検討しましょう。まずは自社株対策を検討・実施してから後継者への株式移転となります。				
4 スキーム 確認	分散株式の買取資金の確保	定期保険の活用		1		○			今現在、分散している株式の株主や経営外の株主との関係は良好な関係にあっても、事業承継で後継者が会社を運営していくことになった場合、その後継者と分散している株式の株主や経営外の株主との関係が良好に行くとはいえません。後継者が安定した経営を行えるように分散している株式の集約を検討されることをお勧めします。株式を買取る資金として、経営者の万が一に備えつつ、買取資金を確保する方法として定期保険（歳満了型）の活用が考えられます。				

※1 スキーム確認ボタンから出力される内容を確認できます。

※2 お勧め度取得ボタンを押すと、各スキームのお勧め度を1～5で表示できます。

② レポートに出力したくない項目がある場合は、『R作成』欄の『○』をダブルクリックすることで『×』に変わり出力を止めることができます。
お勧め度を変更したい場合は、『強制★』欄に1～5を入力します。

② 家系図を除き、これまで設定してきた内容を登録する場合は、データ入力シート上の【登録】ボタンで登録します。

② 【分析レポート作成】をクリックします。 ・ PowerPointに提案書が出力されます。

現状把握および分析レポート作成方法の説明は以上です。